

アンケートの質疑に対する回答

○総務常任委員会

問 バイパス近くに住むもの（上唐子）だが、防災無線について、放送が聞きづらいので調査してほしい。首都圏直下型地震が起こる可能性が高いので聞こえないと非常に困る。

答 テレホンサービス（0180-99-4567）でも防災無線を聞くことができます。市議会では、昨年3月の大震災以降、複数の議員が防災無線について一般質問を行なった。市は平成23年11月～平成24年3月まで音達調査を実施。難聴の原因を明らかにし、スピーカーの方向変更や増設、受信所の増設など合わせて29局の改善を検討している。

○厚生文教常任委員会

問 病院事業会計に5億円を一般会計から出金を毎年していて、今後本当に改善ができるのか。また発展推進できるのか。

答 ご指摘の一般会計からの繰入金については、一時は8億6千万円（平成20年）を超えておりました。内訳は、病院の不採算部分など一般会計が負担すべき費用として2億9千万円ほど、また、欠損金に対する補てん費用として5億7千万円ほどになります。一般会計からの繰り入れは、市民病院が公立病院として、民間が引き受けない不採算部門を引き受ける役割を担うことにより、ある程度は必要なものと思われます。しかしながら、一般会計にも悪影響を与えるかねない多額の繰り入れに関しては問題のあるところです。市民病院の経営については議会でも、何人の議員が一般質問を行ったり、市民病院経営検討委員会を立ち上げたりして、市民病院の問題に取り組んでまいりました。

その都度、高額な委託管理費（清掃事業）、職員の人件費、高額な材料費の見直し等を指摘し、その度ごとに一部改善がなされてまいりました。また、オーダリングシステムの導入によるIT化・効率化の推進、看護師の接遇などによるお客様サービスの向上なども議会により指摘され、一部改善がはかられております。今年2月から院外処方を実施したことにより、待ち時間の短縮と同時に、薬剤師の人件費、材料費が大幅に削減されています。

また、市民の皆さんに大変ご迷惑をおかけしている土日24時間救急医療の再開については、平成26年に完全実施することが新改革プランにより明言され、それに向けて休日夜間救急の実施を行っているところです。完全な実施のためには、今後も医師確保のための努力が必要であるところですが、引き続き重要課題として取り組んで参ります。

- 問** 77歳の敬老祝金で支給される商品券ぼたん圓は、6ヶ月が有効期限となっており、使用されなかった「ぼたん圓」は市に還付されないで、商工会へ戻入となると聞いている。もしこれが本当なら、かなり問題があると思われる。貴重な税金、もっと有意義に活用してほしい。
- 答** 地域共通商品券「ぼたん圓」は、東松山市支え合いサポート事業協力者ならびに市内消費者の消費行動につなげ、市内消費の拡大と、地域商工業の活性化を図ることを目的として発行されたものであります。したがいまして、有効期限内にぜひ利用していただきたいと思います。尚、有効期限を過ぎた商品券は無効となります。商工会へ戻入になることはございません。

○経済建設常任委員会

- 問** 議会報告資料の(5)土木費、⑥第一小学校通線整備事業（3億244万円）の調査委託、用地取得、物件補償等、現在の状況及び今後の見通しを教えてください。
- 答** 担当課である市街地整備課に確認したところ、次のような回答がありました。
都市計画道路、第一小学校通線につきましては、現在は道路詳細設計業務の実施とともに事業推進に必要な物件調査並びに用地取得等について、関係権利者と交渉を進めています。
今後の見通しにつきましては、事業期間を平成23年度から平成27年度とし、今回の道路拡幅と併せて、東武東上線踏切から若松町一丁目交差点までの既存道路のバリアフリー化工事を予定しています。
- 問** バリアフリー住宅改修補助金でトイレの手摺りは取り付けられるか。
- 答** 担当課であるまちづくり住宅課に確認したところ、次のような回答がありました。
トイレの手摺りの取り付けは、バリアフリー住宅改修補助金制度の補助対象工事に該当します。ただし、補助を受けるには条件がありますので、詳しくは担当課までお問い合わせください。
- 問** 農業公社の事業について、何かの方法で市民へ現状報告をすることを考えています。農家では不安です。
- 答** ご意見を担当課である農政課に伝え、次のような回答がありました。
農業公社の事業は、大規模農家など地域の担い手となる生産者に農地を橋渡しする農地利用集積円滑化事業、耕ふん・田植え・稻刈りなどの作業を請け負う農作業受託事業、農業機械の貸付事業、野菜苗受託生産事業があります。これらの事業についての実績や現状について、また公社のPRを含め、農家はもとより市民の皆さんにお知らせできるような手段を検討してまいりたいと考えております。